

市議会だより すながわ

第181号
令和8年8月1日



砂川学園 体育祭



砂川学園と解体前の旧砂川中学校
(砂川学園 運動会)

路線バス滝川奈井江線の 廃止について

公正会・
市民の声連合

沢田 広志

問 北海道中央バスが運行している滝川奈井江線の路線バスが、令和8年9月30日をもって運行が廃止されます。市として現在までの取組み状況並びに廃止後の対応等の見通しについて伺います。

答 滝川奈井江線は、北海道中央バスから乗務員の確保が困難であり、資金的支援を強化しても運行を維持することができず、運行の継続は極めて困難とのことから、その代替として、美自校観光バスが運行している浦臼町から奈井江町を経由し砂川市を結ぶ「浦臼砂川線」の活用についての検討会議が本年1月以降継続的に開催され、本市・浦臼町・奈井江町・北海道空知総合振興局・北海道運輸局札幌運輸支局・運行事業者により、運航便数・運行ダイヤ・停留所・運行経費の負担割合等について協議を行い、本年10月からの運行開始に向けて準備を進めています。

問 バス停留所の設置について伺います。

答 協議の中では現行のバス停留所を引き続き利用し、砂川市立病院前から南8号線バス停で対応したいと考えています。

問 協議のとりまとめ時期について伺います。

答 運行について7月から8月にかけて決めていくスケジュールが振興局から示されており協議の場でまとめられると考えています。

問 地域住民への周知について伺います。

答 協議の場において利用者に向けての周知を早くすべきとの話をしていきたいと考えています。



浦臼町営バス

防災対策について

公明党
辻 勲

問 気象庁の新たな防災気象情報の導入によって、砂川市の指定避難所変更等など現在のハザードマップの変更等はあるのか伺います。

答 市民が取るべき行動と避難の情報を記載しており、新たな防災気象情報の運用に対応できる内容なので変更はしません。

問 災害時、キッチンカー等の事前登録制度について、砂川市として可能なか見解を伺います。

答 災害対応車両登録制度は、災害対応車両が温かい食事や快適なトイレの提供等を通じた避難生活環境の改善、被災者に対する良好な居住環境の提供等の観点で有効に活用されましたが、その所在情報等を行政側で十分に把握されておらず、活用の際に提供可否等を都度確認しなければならなかったことから創設されたものです。

本市としても、発災直後から温かい食事や快適な居住・衛生環境等を提供することにより円滑な被災者支援が実現でき、災害関連死

を防ぐ上でも大変重要であり、これらキッチンカーなどの災害対応車両に該当する車両を所有する関係事業者等に対し、制度へ登録してもらおうようホームページ等により周知及び協力依頼を行う検討をしていきます。また、キッチンカー協会等との協定の締結について検討を進めていきます。

問 防災現場で女性リーダー登用や高齢者・障がい者視点の防災体制について伺います。

答 女性の視点を取り入れる重要性に理解を深め、高齢者等避難行動要支援者名簿を作成しています。



高齢者のいる世帯の エアコン助成について

日本共産党

高田 浩子

問 市内の高齢者のいる世帯数について伺います。

答 3月末現在、8千329世帯です。

問 市営住宅の65歳以上の入居状況について伺います。

答 799名、616世帯です。

問 市営住宅のルームエアコン設置状況について伺います。

答 49世帯です。そのうち高齢者のいる世帯が39世帯です。

問 エアコン取付け申請方法と退去時について伺います。

答 設置には事前に建築住宅課で附属物設置承認申請が必要です。

退去時は原状回復の義務が発生します。

問 高齢者のいる世帯へのエアコン設置助成について伺います。

答 生活実態やエアコン設置に対するニーズ把握に努めます。

砂川市の地域公共交通 への取組みについて

問 乗合タクシーのコロナ禍前後の利用者の推移について伺います。

答 コロナ禍中に一時減少しましたが徐々に回復し、令和7年度は最多の利用者数でした。

問 中央バス滝川奈井江線廃止後の代替交通について伺います。

答 美自校観光バス運行の浦臼砂川線を活用することについて検討会議を開催し協議しています。

問 これまでの取組みと今後の考えについて伺います。

答 これまで路線バスの運行収支不足額の補てん・乗合タクシーの運行等を行い、今後も公共交通手段を維持確保していきます。



市職員の副業等の許可 基準の明確化について

公正会・
市民の声連合

武田 真

問 令和4年第3回定例会で、職員の地域貢献型副業等の解禁について質問し、先進自治体の調査研究を進めるとの答弁がありました。

また、総務省は地域課題の解決に資する副業等を自治体が柔軟に認め、許可基準を明確化・公表するように求めています。そこで、これまでの調査研究の状況、職員からの相談・申請・許可件数の推移、副業等の許可基準を策定・公表する考えについて伺います。

答 令和7年4月、地域のスポーツ・文化活動への活用を目的とした「部活動の地域展開に伴う活動及び地域貢献活動の許可基準」を策定し許可しました。

令和7年度の申請・許可件数は延べ258件で、主に選挙事務等ですが、部活動等の許可は3件、相談も数件ありました。

地域課題の解決に資する副業等の許可基準の策定・公表については、国等の動向を注視し継続的に検討します。

持続可能なIT セキュリティについて

問 国では、サプライチェーンリスク対策や自治体等におけるIT機器調達等のあり方について、基準策定が進められています。本市の考え方について伺います。

答 国の方向性が具体化する前段階であるため、現時点では反映していませんが、今後、国の方向性や認定品制度が具体化した場合には、調達仕様書への反映について検討を進めます。



砂川学園の通学について

公正会・
市民の声連合
小黒 弘

問 4月に砂川学園が開校しました。登下校時の通学手段について伺います。

答 登下校時の通学状況については、全児童生徒約780人のうち、徒歩による通学者は約380人、スクー
ルバスの利用者は約250人、自転車
による通学者は約150人です。

問 徒歩の場合における保護者の車での送迎状況で、冬期間は堆雪により今以上に厳しい状況が生じると考えますが、その対応について伺います。

答 道道については、早い段階から北海道建設管理部と相談をして早目の除雪、市道については早目の除雪と交差点の確保を関係機関と協議をしていきます。

問 5、6年生の自転車通学は危険な状況が見られますが、スクールバスに乗車することは出来ないのか伺います。

答 5、6年生の自転車通学は2km以上、3km未満の児童を対象に許可していますが、スクールバス

は定員に近い乗車の状況で難しいです。交通安全指導を行い、事故が起これないような対応をします。

問 通学路について、今後、児童生徒の安心・安全・命を守るため通学路の再検証と通学路の指定を行うべきと考えますが伺います。

答 5月には滝川警察署と合同で学校周辺の交通量現地調査も行っており、状況によつては年度途中でも通学路の見直しを行うこととしていきます。今後も登下校時の安全指導の徹底を図り、児童生徒の安全を見守る体制の構築に努めていきます。



砂川学園前の危険な交差点

砂川学園の学校

運営について

創生会
石田 健太

問 今年度砂川学園が開校し、教育行政執行方針には、9年間の系統性ある小中一貫教育の充実、子どもたちの主体性の育成、地域・保護者との連携など、素晴らしい理念が掲げられています。

これらの理念が日常の学校生活において最も具体的に現れるものの一つが、子どもたちの行動指針となる「学校のきまり」であると考えますが、新しい「学校のきまり」の策定経緯と発達段階への配慮について伺います。

答 教職員による議論を経て、9年間の連続性を重視した全校統一のきまりを策定しました。ファーストステージでは集団生活の規範意識を育み、セカンド・サードステージではきまりの策定理由や意義について考えさせるような指導へと高めていきます。

問 策定に対する子どもたち・保護者の参画について伺います。

答 策定は教職員主体でしたが、保護者説明会等で意見を聴取しま

した。今後は児童生徒会等での議論を促し、見直しが必要な場合は児童生徒の意見を聴取する機会を設け、保護者へはアプリの活用等により感じていることを表現しやすい環境を構築していきます。

問 時代や社会環境の変化に応じた見直しについて伺います。

答 スポーツドリンク等の持参や教科書等をロッカーに置いていくことなどに柔軟に対応しています。実効的に機能していくためには、教職員・保護者・児童生徒三者のきまりへの共通理解が重要であり、一貫性のある指導に努めます。



砂川市立砂川学園

公園トイレの保守・修繕、更新について

創生会

伊藤 俊喜

問 公園トイレでは今の時代にそぐわない、入口の扉がなく内部が見えてしまう古いタイプのトイレも継続して利用されています。

トイレの保守・修繕は計画通りに進んでいるのか、既存トイレを更新する考えがあるのか伺います。

答 公園施設長寿命化計画を策定した平成27年度から現在に至るまで、使用頻度も多く危険な公園遊具など緊急性を要するものを中心に施設の改修・修繕を順次進めています。既存トイレの更新計画については必要に応じて更新を検討します。

問 総合体育館近くの日の出公園の男性トイレでは私が2年前の9月に撮影した写真で、小便器5つ・大便器2つのうち、小便器2つ・大便器が1つ利用不可となっていました。窓ガラスも大きく破損してテープで止めている状態です。今月に撮影した同じトイレの写真では小便器3つ・大便器1つが利用不可で窓も修理されてい

い状態です。

また、多目的トイレも2年前からずっと使えません。どうしてこのように放置している状態が続いているのか伺います。

答 危険な公園遊具など緊急性を要するものから順次、修繕を進めています。トイレの修理については遅れている状況です。指摘のトイレについては本年度修理が必要と認識しており、業者に依頼しています。修繕しても老朽化による故障やいたずらも多く、直してもすぐに壊れ、正常な状態を維持することに苦慮しています。



生涯学習社会実現に向けての取組みについて

創生会

山下 克己

問 「人生100年時代」「超スマート社会」など社会が大きく転換していく中で、高齢者を含め全ての市民が地域において世代を超え互いに交流しながら地域や暮らし、各々の生きがいと共に創り高め合う「地域共生社会」を実現するためにも、いつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現は基本となるものであり、その重要性は一層高まっていると考えます。

刻々と変化し新たな課題が次々と生まれる現代社会において、生涯学習の可能性を伝え理解・実践してもらい、多くの市民に実践してもらうことがこれからの砂川市にとって重要と考えますが、生涯学習を通じたまちづくりを今後どのように進めていこうと考えているのか伺います。

答 本市では、市民一人ひとりがライフステージやニーズに応じて学び、その成果を個人の生活や地

域での活動に活かせるよう、取組みを推進することとしています。

中間年市民意識調査の結果からは、生涯学習がまちづくりと十分に結びつけて認識されていない面も浮かび上がりますので、学びの機会や学習活動に関する情報発信を通じて、市民の皆様の生涯学習に対する関心を高めていくことが課題であると受け止めています。

今後とも、関係部局や関係団体との連携のもと、市民の主體的な学びを支える環境の充実に努め、生涯学習社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。



常任委員会の活動

常任委員会は定例会が開かれる月（3月・6月・9月・12月）以外に、毎月開催されます。今回は4月・5月の常任委員会質疑を取りあげています。

総務文教委員会の質疑 【4月27日、5月22日開催】

【行財政等について】

(4月)

- ★住民と学ぶ防災訓練の開催について
- ★「すながわお試し暮らし」に係る移住体験住宅について
- ★第2期砂川市強靱化計画の策定について
- ★4月27日早朝に発生した地震への砂川市の対応について
- ★乳幼児用の災害時備蓄品について
- ★義務教育学校の備蓄食品配布について
- ★後発地震に対する砂川市の備えについて

(5月)

- ★令和9年度職員採用登録試験(保育職・土木技術職・建築技術職)の実施について(2委員)
- ★NHK道民ドラマ第2弾のロケ地の決定について
- ★ヒグマ出没時の対応に係る時間外手当の支給について

【市立病院事業について】

(4月)

- ★副事業管理者の配置について(2委員)
- ★経営収支状況について(2～3月分)
- ★医師の異動について
- ★中空知地域医療構想調整会議について

- ★隣接した自治体病院との連携における砂川市立病院の役割分担について

(5月)

- ★経営収支状況について(4月分)(2委員)
- ★病床利用率の状況について(4月分)
- ★中空知地域医療構想調整会議の進捗状況について

【教育行政について】

(4月)

- ★スクールバス運行開始後気付いた注意すべき点について
- ★スクールバス運行業者の情報共有について
- ★徒歩通学等の児童・生徒の安全管理について

(5月)

- ★「いじめの問題に係る調査」について
- ★旧砂川中学校のエアコンの譲渡先募集について
- ★令和8年度砂川市小中一貫教育基本計画(令和8～12年度)の策定について
- ★砂川市教育支援センターの利用状況について
- ★砂川学園開校後の不登校児童・生徒の状況について
- ★部活動の遠征時移動手段について
- ★スクールバスの部活動遠征への活用について
- ★部活動遠征時の責任の所在について

社会経済委員会の質疑 【4月28日、5月25日開催】

【市民生活行政等について】

(4月)

- ★北海道中央バス「滝川奈井江線」について
- ★犯罪被害者等支援に関する協定の締結について
- ★税の申告書の受理状況について
- ★市税の賦課決定及び納税通知書の発付状況について

(5月)

- ★ナフサ不足によるゴミ袋の供給体制について

【保健福祉行政について】

(4月)

- ★生活保護の動向について
- ★ファミリーサポートセンターの利用実績等について
- ★令和8年度敬老助成券の交付について
- ★「砂川市新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定について
- ★子育て支援センターの開始時期について
- ★子育て支援センターの利用者について

(5月)

- ★若年者生活習慣病予防健診事業について
- ★ふれあいセンターの老朽化した看板について
- ★健康ポイントについて
- ★誘致した開業医について

【建設行政及び下水道事業について】

(4月)

- ★損害賠償請求事件に関する訴訟について

- ★訴訟の提訴について

- ★石狩川下流袋地沼地区自然再生事業について
- ★公営住宅等長寿命化計画の改訂について(2委員)

(5月)

- ★やすらぎの家について
- ★北海道電力砂川火力発電所廃止後の流雪溝の運用について
- ★老朽化した看板について
- ★市営住宅の公園の管理について
- ★市営住宅の駐車場の管理について

【経済行政について】

(4月)

- ★所管事務の概要について
- ★まちなか交流施設すないる1周年記念イベントの開催について

- ★観光用レンタサイクル事業の実施について

- ★鳥獣被害対策について(2委員)

- ★北海道電力砂川火力発電所について

- ★コープさっぽろの現店舗の今後について

(5月)

- ★プレミアム商品券発行事業について(2委員)

- ★地域おこし協力隊の採用について(2委員)

- ★ヒグマの出没状況と対策について

- ★北海道電力砂川火力発電所との包括連携協定について

- ★コープさっぽろ砂川店について

令和 8 年 第 2 回砂川市議会定例会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第 1 号	令和 8 年度砂川市一般会計補正予算(第 1 号)	8. 6.16 原案可決
議案第 2 号	令和 8 年度砂川市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)	8. 6.16 原案可決
議案第 3 号	令和 8 年度砂川市下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	8. 6.16 原案可決
議案第 4 号	砂川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	8. 6.18 原案可決
議案第 5 号～6 号	工事請負契約の締結について	8. 6.15 原案可決
議案第 7 号	砂川地区公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	8. 6.18 同 意
議案第 8 号～20 号	砂川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	8. 6.18 同 意
報告第 1 号	繰越明許費の繰越しについて	8. 6.15 報告済
報告第 2 号	下水道事業会計予算の繰越について	8. 6.15 報告済
報告第 3 号	専決処分の報告について	8. 6.15 報告済
報告第 4 号	砂川市土地開発公社の経営状況の報告について	8. 6.18 報告済
報告第 5 号	事務報告書の提出について	8. 6.18 報告済
報告第 6 号	監査報告	8. 6.18 報告済
報告第 7 号	例月出納検査報告	8. 6.18 報告済
意見案第 1 号	2026 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について	8. 6.18 原案可決
意見案第 2 号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	8. 6.18 原案可決
意見案第 3 号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元及び高校に関わる支援など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書について	8. 6.18 原案可決
意見案第 4 号	生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書について	8. 6.18 原案可決

行政視察受入れ状況

6 月 26 日

○東京都西多摩郡瑞穂町議会 公明党(会派)
・認知症対策について

7 月 9 日

○愛媛県大洲市議会 産業建設委員会
・まちなか観光レンタサイクルを
活用した観光振興について

7 月 15 日

○新潟県小千谷市議会 民生産業委員会
・スマート I C、官民連携による
地域活性化施策について

7 月 22 日

○宮城県大崎市議会 公明党(会派)
・子育て支援サービスについて

会議の開催状況

(5 月)

22 日 総務文教委員会

25 日 社会経済委員会

(6 月)

8 日 議会運営委員会

15 日 議会運営委員会

15 日～18 日 第 2 回定例会

18 日 議会広報編集委員会

22 日 議会運営委員会

(7 月)

7 日 議会広報編集委員会

14 日 議会広報編集委員会

27 日 総務文教委員会

28 日 社会経済委員会

市議会の様子を
インターネット上で配信しています。

砂川市議会事務局

住 所：砂川市西 7 条北 2 丁目 1 番 1 号

電話番号：0125-74-8796

Eメール：gikai@city.sunagawa.lg.jp

ホームページ：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/index.html



令和7年度 政務活動費収支報告

令和7年度政務活動費の状況は表のとおりです。なお、政務活動費の使途の透明性を高めることを目的に、砂川市議会ホームページで政務活動費収支報告書・領収書及び政務活動報告書を公開しています。(単位:円)

申請者	交付額	支出額	返還額	支出額の内訳		主 な 使 途
創 生 会 5人	600,000	573,536	26,464	調査研究費	345,716	富山県氷見市「能登半島地震における氷見市の被災状況と復旧・復興の取組み」※市民クラブと合同 石川県かほく市「人口増加に向けた移住・定住促進施策」※同上
				研 修 費	227,820	第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌 「病院関連質問で地域の医療を守る特別研修～病院経営改革から病院経営強化へ」並びに「人口減少・少子化に備える地方の施策～国のこども子育て施策をおさえよう」(東京都)
市民クラブ 3人	360,000	283,095	76,905	調査研究費	218,855	富山県氷見市「能登半島地震における氷見市の被災状況と復旧・復興の取組み」※創生会と合同 石川県かほく市「人口増加に向けた移住・定住促進施策」※同上
				資料購入費	64,240	定期刊行誌購入
公 正 会・ 市民の声連合 3人	360,000	263,362	96,638	調査研究費	72,358	士別市・名寄市「上川北部医療連携推進機構の運用状況等について」
				広 報 費	190,872	公正会・市民の声だより発行
				資料作成費	132	コピー代
公 明 党 1人	120,000	120,000	0	広 報 費	120,780	公明党だより発行
日本共産党 1人	120,000	120,000	0	研 修 費	75,780	「適正な議員報酬の決定方法を考える」(東京都) 「交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資」(東京都)
				広 報 費	28,022	日本共産党議会報告発行
				資料購入費	17,812	書籍購入
合 計	1,560,000	1,359,993	200,007	広 報 費	339,674	二次元バーコードで政務活動費の ページへ簡単アクセス 
				研 修 費	303,600	
				調査研究費	636,929	
				資料作成費	132	
				資料購入費	82,052	

(趣 旨) 地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、政務活動費を交付します。
(交付対象) 政務活動費は、議長に結成を届け出た会派(所属議員が1人の場合を含む。)に対して交付します。
(交 付 額) 政務活動費は、各月1日における会派の所属議員数に月額10,000円を乗じて得た額を交付します。
※支出額と支出額の内訳が一致しないものは自己負担

「第33回 中空知ふるさと市町村圏議員交流会」が開催されました

令和8年7月16日(木)、新十津川町総合健康福祉センター「ゆめりあ」にて開催された「第33回 中空知ふるさと市町村圏議員交流会」に参加しました。酪農学園大学の佐藤喜和教授を講師にお迎えし「ヒグマ出没増加の背景と求められる対策」をテーマとした講演を拝聴しました。近年、ヒグマ対策は中空知圏域の自治体に共通する重要な課題となっており、大変興味深い内容でした。専門的な研究成果についても、分かりやすく解説していただき、大変有意義な学びの機会となりました。

次回の交流会は、奈井江町議会および砂川市議会の主管により開催される予定です。



あ と が き

今年は暑さが来るのが遅い夏となっています。4月より義務教育学校がスタートし、今後の期待と不安の入り混じる日々を過ごされている方もいらっしゃるようです。

心配な事等ありましたらお声かけください。

(高田)

議会広報編集委員会

委員長 鈴木 伸之 副委員長 高田 浩子 委員 武田 真 委員 山下 克己